



したたかに学び しなやかに考え
しあわせを願える人に



Midorioka
High School

2025

ごあいさつ

茨城県立緑岡高等学校長 今 瀬 一 博

緑岡高等学校は、「文武不岐」の精神に基づき、高い知性とたくましい心をもって、社会に貢献する人材の育成を目指します。この目標を達成するために、「授業の充実と改善」「探究的学びの充実」「特別活動の推進」に努めてまいります。そして、「探究的態度」によって自ら進んで「したたかに」学ぶ生徒、「柔軟な発想」によって他者と調和できる「しなやかな」心をもつ生徒、「協和の精神」によって自他の「しあわせ」の実現に貢献できる生徒を育成したいと思っています。

この「したたか」「しなやか」「しあわせ」は、高校生世代が社会に巣立ち、非連続で長生きの時代を生きていく際のキーワードになると考えております。高等学校の3年間は、人生100年とも言われるこれからの時代を生きていくための土台を造る時期です。本校での学びが、人としての「総合力」の向上に繋がってほしいと考えています。



茨城県立緑岡高等学校グランドデザイン

「目指す学校像」と「令和6年度重点目標」

- 「目指す学校像」：文武不岐の精神に基づく教育活動を推進し、高い知性とたくましい心をもって、社会に貢献する人材を育成する。
- 「令和6年度重点目標」：
- I 生徒の主体性を引き出すカリキュラム開発と授業改善
 - II 生徒の自己実現のための進路指導と進路選択の充実
 - III アントレプレナーシップに基づく自己指導力の向上
 - IV SSH事業、国際交流事業及び社会貢献活動の推進
 - V 働き方改革の実践及び、教職員の教育力の一層の向上

豊かな人間性

- ・探究活動の推進による豊かな心の涵養
- ・集団活動による人間関係形成能力の育成
- ・高大連携や国際交流事業による創造性の涵養

健康・体力

- ・授業や特別活動を通じた体力の向上
- ・授業や学校行事を通じた健康の保持増進

校訓 誠実 進取 協和

目指す生徒の姿（緑高3S）

- ・「探究的態度」によって自ら進んでしたたかに学び続けられる人材
- ・「柔軟な発想」によって他者と調和できるしなやかな心をもった人材
- ・「協和の精神」によって社会の発展としあわせの実現に貢献できる人材

資質・能力の育成

- ・探究的な学びによるコミュニケーション能力・批判的思考力の育成
- ・自ら問いを発し考えながら自走できる主体的な学習態度の育成
- ・全職員との連携・協働による主体性や自ら学びに向かう力の育成
- ・教科横断的な文理融合の学びによる自主性と創造性の育成
- ・社会や地域の課題を見つけ、解決するための資質・能力の育成

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・生徒の主体性を引き出すカリキュラム開発
- ・普通科の多様性に応える、探究を基礎とした教育課程
- ・理数科の専門性を生かす、探究を核とした教育課程
- ・主体的な社会参画のための自治的活動を推進する教育課程

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・確かな学力を身につけるための授業の工夫・改善
- ・課題発見・課題解決のための協働的学びの実践
- ・主体的・対話的で深い学びのためのICT活用
- ・指導と評価の一体化のための実態に応じた評価の工夫

実施するために何が必要か (支援体制の充実、家庭との連携・協働)

- ・各学年及び校務分掌間の連絡調整の充実
- ・Classi等の活用による家庭との緊密な連携

安心・安全を守る

- ・校内施設設備の点検と危険箇所の修繕
- ・登下校の安全確保と安全教育の充実
- ・不審者対策と防災避難訓練の充実
- ・自他尊重の精神の涵養といじめ防止教育の充実

開かれた学校作り

- ・学校公開やHPによる積極的な情報発信
- ・学校説明会や学校訪問の積極的な受入れ
- ・地域社会や地域諸団体との積極的な連携
- ・学校評議員等外部関係者との積極的協働

表紙デザイン 2年4組 磯崎 来都

学科案内

理系のエキスパートを育成する理数科、多様な進路実現を目指す普通科（※2年次より）

理数科 (1クラス)



科学者・研究者として活躍する人材の育成

- 高度で専門的な「理数探究」の実施
- 実践的な英語のカリキュラム
- 豊富なプレゼンテーションの機会

普通科 6クラス(文系・理系)



多彩な進路の実現

- 主体的・協働的に探究を進める「探究Ⅰ（1年生）・SP探究（2年生）」の実施
- 一人一人の進路希望に対応したカリキュラム

希望の進路を実現させるカリキュラム（※令和6年度在校生のもの）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年	共通	現代の国語	言語文化			歴史総合			公共		体育		保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ			論理・表現Ⅰ		家庭基礎			★SS 数学					★SS 物理		★SS 生物		探究Ⅰ	LHR			
	普通科文系	論理国語	古典探究			地理総合			日本史探究 世界史探究		世界の中の日本		数学Ⅱ			数学B	数学C	★Science			体育			保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ		★SS 情報		SP探究	LHR		
2年	普通科理系	論理国語	古典探究			地理総合			数学Ⅱ			数学Ⅲ	数学B	数学C	物理生物			体育		保健	英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ		★SS 化学α		★SS 情報		SP探究	LHR					
	理数科	論理国語	古典探究	地理総合	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ			★SS 数学β					★SS 物理β			★SS 化学		★SS 生物β		★*	★SS 数理情報		LHR								
3年	普通科文系	論理国語	古典探究			日本史探究 世界史探究			政治・経済			数学Ⅱ		数学B	数学C	★Science					体育			英語コミュニケーションⅢ			論理・表現Ⅲ		緑高タイム	LHR						
	普通科理系	論理国語	古典探究			地理探究			数学Ⅲ			数学B	数学C	物理生物		体育		英語コミュニケーションⅢ			論理・表現Ⅲ		★SS 化学β			懸念タイム	LHR									
	理数科	論理国語	古典探究			地理探究			体育		英語コミュニケーションⅢ			表現Ⅲ・探究Ⅲ	イブニングゼミ	★SS 数学γ					★SS 化学					★SS 物理γ ★SS 生物γ		★*	LHR							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35

※…SP 科学、★…学校設定科目、*…SE 課題研究

生徒会長あいさつ

3年2組 大藤 莉奈（大子中卒）

突然ですが、皆さんは緑岡高校にどんなイメージを抱いていますか？

「静かそう」「真面目」など少し堅いイメージではありませんか？

もちろん緑高生は、誰もがひたむきに勉学に励みます。先生方のサポートや学習設備も充実しており、集中して勉強に取り組むことができます。しかし、様々なことに挑戦しながら青春を謳歌している緑高生の姿を目の当たりにすると、学習面だけにひたむきなわけではないことに驚かれると思います。

緑高は「文武不岐」の伝統精神のもと、勉強だけでなく、部活動や学校行事など何事にも全力で取り組むことができる高校です。特に緑高祭・野球応援・クラスマッチ・緑歩会など、多くの行事が毎年開催されており、生徒主体となって運営される行事は、ほかのどの学校にも劣らないクオリティーと満足度を兼ね備えています。

ぜひ、私たちと一緒に、皆さんが思い描いている憧れの高校生活をこの緑岡高校で実現させてみませんか！

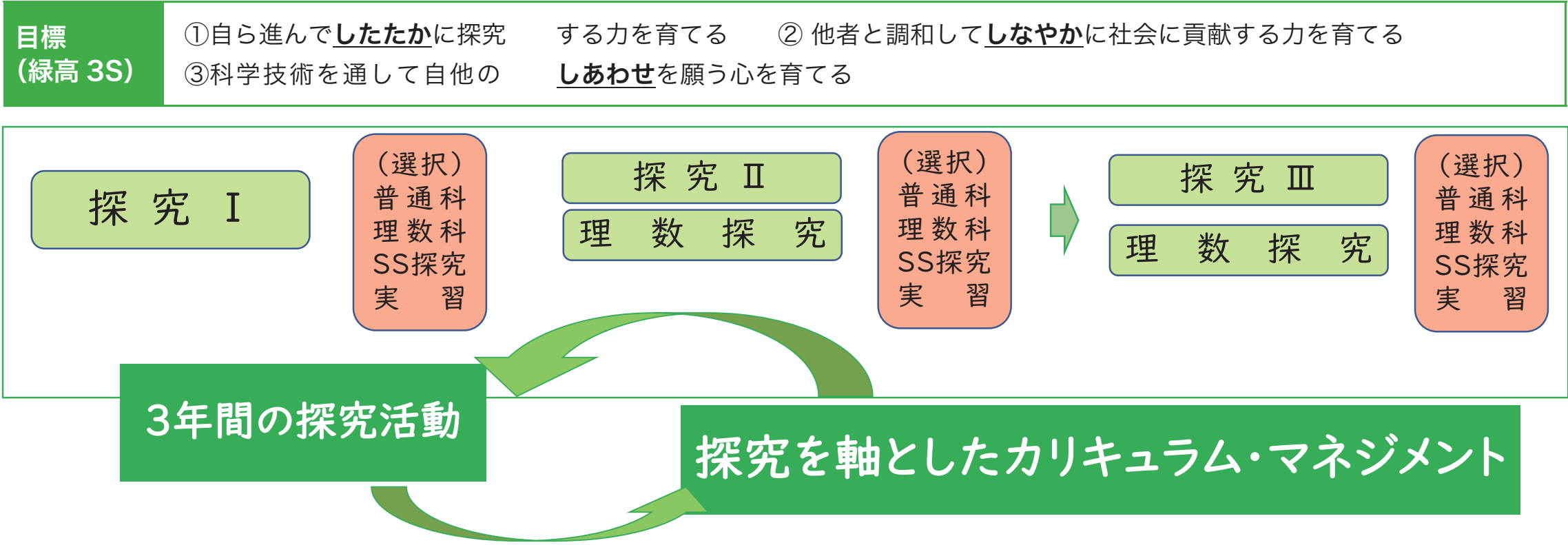


社会の作り手としてイノベーションを創出 する、科学技術人材育成プログラムの開発

SSH (スーパーサイエンスハイスクール) とは

文部科学省では、将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し、学習指導要領によらないカリキュラム開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援しています。

また本校は、茨城県内の SSH 指定校のハブ校として、いばらきサイエンスコンソーシアムの中心となっています。



普通科の SSH の取り組み 理数科の SSH の取り組み

探究 I (普通・理数共通)

様々な科学的内容を通して、ディスカッション力、課題の見つけ方、探究の手法・進め方等を身に付けることで“科学的素養”を培います。実習として Google アプリ各種を実際に使用し、探究だけでなく授業や部活動での利用も支援します。

学んだことを活かして各種コンテストやビジネスコンペ (IBARAKI ドリーム・パス等) への出品や発表を目指します。



▲ガイダンス



▲地域課題探究



▲最先端科学講演会



▲SDGs QUEST みらい甲子園

探究 II・探究 III

「探究 I」の学習を踏まえ、研究課題を明確にして主体的・協働的に探究 (調査研究) を行い、得られた結果を根拠に基づいて考察し、最終的に結論を導き出す活動を通して、科学的素養の育成を図ります。人文科学、社会科学、自然科学、健康科学等幅広い分野について探究活動を行います。



その他の学校設定科目

教科・科目を横断的に学習したり、学際的な内容や発展的な内容を扱ったりする学校設定科目を第 1～3 学年にわたって設定しています。

「SS 数学」 「SS 物理」 「SS 生物」

理数科の特徴

- “理数科”として、また“SSHの主対象”として様々な事業に取り組みます。
- “確かな専門性”や“国際性”を育成するため、学校設定教科「SSH」にSS系科目を多く開設しています。2年では、理科3科目を履修します。
- 「理数数学Ⅱ」「理数数学特論」「理数物理」「理数化学」「理数生物」「理数生物特論」「理数物理特論」「サイエンスイングリッシュα・β」
- 難関理工系、医学系進学に向けたハイレベルな授業を展開しています。

理数探究

少人数の研究グループに分かれて、自分たちでテーマを決めて探究します。「探究 I」で培った科学的素養に基づいて、2年間に渡って研究を進めていきます。この課題研究では、大学生や大学院生によるチューター制を導入し、また理数科内で学年間交流を実施することで多面的・多角的な視点から探究に取り組み、“確かな専門性”の育成を図ります。



海外研修

海外の大学や研究機関等での研修や交流を通して異文化を理解し、科学を接点に英語によるコミュニケーション能力を高めます。また、海外の文化や先端科学技術に触れることを通して、国際的な視野を養います。(令和6年度は、シンガポールへの渡航を予定しています)



現役 118名		現役 647名	
国公立大学合格者		私立大学合格者	
126名		734名	
北海道大学	3名	早稲田大	1名
茨城大学	43名	東京理科大	9名
茨城県立医療大	4名	明治大	30名
東京学芸大	4名	立教大	17名
東京海洋大	2名	法政大	32名
千葉大	9名	同志社大	3名
東京都立大	1名	東京医科大医学部医学科	1名
東北大学	2名	慶応大	8名
筑波大学	10名	学習院大	6名
東京外大	2名	青山学院大	8名
東京農工大	2名	中央大	22名
埼玉大	10名	関西学院大	1名
静岡大	2名	立命館大	3名
横浜市立大	2名		
など（過年度卒含む）		など（過年度卒含む）	

走り続ける緑高OB



川井 真裕美さん

(株式会社 MIITO CREATIVE 代表取締役社長／グラフィックデザイナー)

私は平成 17 年に卒業しました。高校見学を通して、先輩方の明るさと親しみやすい人柄、校内の開放的な雰囲気魅了され「ここで青春を過ごしたい!」と強く憧れを抱いたことを今でも鮮明に覚えています。

日々の何気ないスクールライフがとても濃密で楽しい時間でした。行事ひとつ一つに在校生が一丸となって取り組んでいるところも緑岡高校の魅力だったと思います。

勉強、部活動や自分の将来について考え、その準備も十分にできる充実した高校 3 年間で過ごすことができました。美大受験をしたいと言う少数派の生徒である私に対しても、先生方は真摯に向き合ってくださり最後まで夢を応援してくださいました。興味を持ったことは何でも安心してチャレンジすることのできる学校です。

第一志望の美術大学へ進学でき、その後は憧れだったグラフィックデザイナーになって、平成 28 年に自分のデザイン制作会社を起業しました。

一度茨城を離れたことで地元の素晴らしさに気付かされ、平成 25 年から茨城県ゆかりの女性を応援するフリーマガジン「茨女（いばじょ）」というフリーペーパーも発行しています。

緑岡高校は、我が子にも自信をもって進められる学校です。



阿部 健太郎さん

(フェンシング日本代表トレーナー)

私は現在トレーナーを職業とし、アスリートを中心としたパフォーマンス向上をサポートする仕事に従事しています。

2011 年に緑岡高校を卒業し、大学、大学院と進学して今に至ります。

当時野球部に在籍しており、文武不岐をモットーに勉強、部活の両立に必死な毎日を過ごしていました。

私は度重なる怪我に悩まされ、思ったようにプレーが出来ずに引退をしました。そんな選手を少しでも減らせればという思いで、医療系の大学進学を選択しました。

しかし当時の同級生は、国公立の現役合格者数の歴代記録を更新。自分は大学に不合格。滑り止めで受かった大学は歴史が浅く、決して偏差値は高くなく進学を悩んでいました。

当時 10 代の私は、偏差値が高い良い大学に入らなければいけないと凝り固まった考えでしか物事を見られませんでした。先生方の言葉が私の人生を大きく変えてくれたと言っても過言ではありません。

“あなたはやりたいことが明確に決まっているからどこに行っても大丈夫”

高校の選択、大学の選択も全て手段である。

その後サポート選手のおかげで、世界一、日本一の景色をトレーナーという立場で経験できたのは、間違いなくあの時の選択があったからです。

緑高は自分の可能性を大きく広げてくれた場所です。

卒業生からメッセージ

千葉大学国際教養学部

吉原 美空

(田彦中卒)



緑岡高校で過ごした 3 年間は、私を大きく成長させてくれました。多くの行事が生徒主体で行われ、責任感を育むと共に目一杯楽しめました。一方、学習意欲を高められる環境が整えられ、毎週の小テストは学習の習慣化に繋がります。

また、様々なことにチャレンジできる機会があります。私は英語のプログラムに思い切って参加した経験を経て、挑戦する勇気を培うことができました。そして全力で応援しサポートして下さる先生方がいらしゃいます。私も勉強や精神面で沢山支えて頂きました。大学受験では志高き仲間との刺激の中で勉強し、諦めないことの大変さと偉大さを実感しました。一度きりの高校生活をぜひ緑高で！有意義な時間を送れるよう皆さんを応援しています！

東京外国語大学

国際社会学部 中央ヨーロッパ学科

丹治 光

(岩間中卒)



緑岡高校で過ごした 3 年間は本当にかけがえないものでした。それは多くの出会いや経験を通して自分自身の成長を実感することができたからです。

緑岡高校の伝統精神として「文武不岐」という、学習と部活動の一つのものとして共に欠かせないものとする考えがあります。その精神に基づき一人ひとりが様々な面で存分に活躍し、ここでしかできない経験や学びを通じて日々充実した学校生活を送っています。

学習においては、大学進学を目指す人が多く、朝から利用できる自習室や進路に関する情報が揃った進路室があり、学習環境が十分に整っています。文化祭やクラスマッチ、緑歩会といった行事が毎年行われることも魅力の一つです。

中学生の皆さん、ぜひ緑岡高校で自分の夢や目標を応援してくれる仲間と共に最高の高校生活を送ってみませんか。

東北大学

法学部

堀部 空

(笠原中卒)



緑高はどこか勉強のお堅い印象があるかもしれませんがそんなことはなく、「頑張る」人の背中を押してくれる学校です。

皆さんが高校生になってから頑張りたいことは何ですか。勉強を頑張りたい人はもちろん、部活や恋愛などの青春を頑張りたい人にとっても緑高はベストな環境だと思います。

僕は緑高に入り、豊富な部活の中から念願だった軽音部を選び、活動に力を注ぐことができました。また、修学旅行や毎年の文化祭等の行事や、同級生と笑いあった毎日はかけがえない青春の思い出になりました。そして何より、受験期では緑高で出会った優しい先生方や心強い友達の協力が第一志望の大学の合格に繋がりました。

高校で「文武不岐」を頑張りたい人にとって、緑高は間違いなく 3 年間の青春を捧げる価値がある学校です！！

筑波大学

生命環境学群 生物資源学類

岩波 勝斗

(勝田第一中卒)



緑岡高校では文武両道を目指し周りの友達と一緒に成長できる環境が整っています。部活で結果を残すために頑張る人、行事に一生懸命取り組む人、勉強を熱心に頑張る人、皆周りの人を巻き込みながら日々夢に向かって進んでいます。夢や目標が決まっていなくてもそんな環境に刺激されながら成長することが出来ます。

高校生活で悩みや焦りを感じることがあるはずですが緑岡高校の先生や友達は親身に自分たちのために尽くしてくれます。かけがえない高校生活を過ごすために緑岡高校にぜひ入学してみてください。応援しています。

北海道大学

工学部

大葉 真生

(友部中卒)



あっという間に過ぎ去る高校生活を緑岡高校で過ごすにあたって大切にしたいことは、好きなこと、熱中できることを見つけることです。僕の場合、高校から始めたバレーボールや初めて音楽ライブに行ったことです。部活に熱中できる環境や毎日遊ぶような友達が緑岡高校でできるはず。いま、そのメンバーでしかできないことを精一杯謳歌してほしいです。また、大学への進学についてもよい環境がそろっていると感じます。気軽に質問できる先生が多く、一緒に考えながら地に足を付けた学習ができます。私が所属していた理数科では研究だけでなく、後々大学で使うことになる論文の調べ方やレポートの作り方、見やすいスライドの作り方など今後に生かせる技術も身に付きます。今、私は、高校時代に習得した技術に助けられています。高校生活は後から戻りたくても戻れないとても大切な日常です。悔いの残らない三年間を送ってほしいと思います。

緑高生の1年



部活動

運動部

- ソフトテニス
- 水泳
- バドミントン
- 弓道
- バレーボール
- 陸上競技
- バスケットボール
- サッカー
- 硬式テニス
- 卓球
- 野球
- ハンドボール
- 剣道

文化部

- 美術
- 棋道
- 地学
- 応援団
- 軽音楽
- 写真
- J R C
- 歴史
- 映画研究
- 華道
- 英語
- 吹奏楽
- 生物
- メディア文芸
- 科学探究

◀ サッカー部

剣道部 ▶

▶ バスケットボール部

バレーボール部 ▶

▶ 野球部

◀ 陸上競技部

▶ バドミントン部



▲ 美術部



▲ 生物部



▲ 棋道部



▲ 地学部



▲ 応援団部



▲ 吹奏楽部

全国大会

陸上競技部

国民体育大会(鹿児島)
男子800m 7位(1'51"44)(刈部光紀)
男子やり投げ出場(角鹿由翔)
令和5年度全国高等学校陸上競技大会(厚別)
男子800m出場(刈部光紀)

フェンシング部

令和5年度全国高校総体フェンシング競技大会
女子個人戦フルール・サーブル出場(酒井紗綾)

剣道部

茨城新聞社旗争奪第41回全国選抜高校剣道大会 女子団体
第51回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会 女子団体

関東大会

陸上競技部

関東高等学校陸上競技選手権大会
男子800m 2位(刈部光紀)
男子やり投げ出場(角鹿由翔)
関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会
女子400mH 2位(萩原実咲)
男子3000SC出場(櫻井駿)

水泳部

関東高校水泳競技大会
男子200m・400m個人メドレー出場(佐藤志弥)
男子400mフリーリレー・メドレーリレー出場
(照沼千広 樫村一機 川口真澄 佐藤志弥)
女子100m・200mバタフライ出場(槁愛理)

フェンシング部

令和5年度関東高等学校フェンシング大会
女子個人フルール出場(酒井紗綾)

全国大会

棋道部

令和5年度第47回全国高等学校囲碁選手権大会
男子団体(谷本悠樹、木下友佑、倉品伶旺)
女子団体(菊池唯花、村上涼花、中村香菜)
男子個人(谷本悠樹)
女子個人(菊池唯花、村上涼花)
令和5年度第47回全国高等学校総合文化祭囲碁部門
男子個人(谷本悠樹)
女子個人(菊池唯花)
令和5年度第47回全国高等学校総合文化祭将棋部門
女子個人(村上涼花)

映画研究部

令和5年度NHK杯全国高等学校放送コンテスト全国大会
テレビドラマ部門、テレビドキュメント部門、ラジオ

ドキュメント部門、アナウンス部門
令和5年度全国高等学校総合文化祭
ビデオメッセージ部門

美術部

令和5年度全国高等学校総合文化祭
絵画部門(草野友里)

生物部・科学探究部

21世紀の中学生による国際科学技術フォーラム(SKYSEF2023)
(熊田友紀、生天目駿輔、児玉悠馬、工藤晴登)
第18回高校化学グランドコンテスト
(熊田友紀、生天目駿輔、児玉悠馬、工藤晴登)
21世紀の中学生による国際科学技術フォーラム(SKYSEF2023)
(森尻彩名、萩野谷遼、網倉悠、渡邊拓馬)

英語部

第70回キリスト教大学英語プレゼンテーションコンテスト第3位

関東大会

令和5年度 第39回関東地区高等学校囲碁選手権大会
男子団体(村上涼花、菊池のどか、齊藤遥)
女子団体(木下友佑、倉品伶旺、鈴木博紀)
女子19路個人戦(村上涼花)
女子9路個人戦(菊池のどか、齊藤遥)

国際交流事業 (令和5年度実施)

異文化理解を深めると共に、英語の実践的コミュニケーション能力を高め、地域の課題解決に貢献できる人材の育成を目指します。

【1学年】

10月 「EUがあなたの学校にやってくる」
12月 JICA筑波研修生の受け入れ

【海外短期留学プログラム】

6月末 ボランティア(中学生英語プレゼンテーションフォーラム練習会)
12月25日、1月12日 *高大接続事業(「多文化共生」をテーマにした講演)
1月中旬 オンライン事前学習(英会話)
2月10～16日 カナダバンクーバー研修
1日目(午前)入国手続き (午後)先住民文化プログラム
2日目(午前)University of British Columbia訪問プログラム (午後)グランビルアイランド
3、4日目(全日)パディソンハイスクール入学体験
5日目(全日)University of Victoriaツアー
6日目(午前)バンクーバー市内観光、出国手続き

*高大接続事業(常磐大学)

- 第1回 富田敬子学長
「カナダの民族多様性を歴史から紐解く ～ 先住民族と移民が築いた国」
- 第2回 深松亮太助教授
「北米地域の多文化主義と『人種』の歴史: 揺れ動く『共生社会』」
- 第3回 北根精美教授
「茨城で考える『多文化共生』とは? ～ 外国人材に依存する特定産業分野と地域の課題」
- 第4回 飯野令子教授
「外国人の視点から見た茨城・水戸 ～ 言葉の壁から『多文化共生』の課題を考える」

参加生徒の感想

・世界には私達とは違う価値観や考えを持つ人がいるのだと感じた。
・これからは、相手のことも考え、お互いを尊重しあえる空間を作りたいと思った。



茨城県立緑岡高等学校

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町1284

TEL.029-241-0311

FAX.029-241-7929

URL <https://www.midorioka-h.ibk.ed.jp>

